

# 試 験 報 告 書

依 頼 者 株式会社 タキオン

一般財団法人

日本食品分析センター

東京都渋谷区元代々木町52番1号



検 体  $\beta$ -ニコチンアミドモノヌクレオチド

表 題 細菌を用いる復帰突然変異試験

2020 年 10 月 26 日当センターに提出された上記検体について試験した結果をご報告いたします。

## 細菌を用いる復帰突然変異試験

### 要 約

$\beta$ -ニコチンアミドモノヌクレオチドの遺伝子突然変異誘発性を調べる目的で、「医薬品の遺伝毒性試験に関するガイドラインについて」(平成11年11月1日 医薬審第1604号)の別添「遺伝毒性試験ガイドライン」及び「医薬品の遺伝毒性試験及び解釈に関するガイダンスについて」(平成24年9月20日 薬食審査発0920第2号)の別添「医薬品の遺伝毒性試験及び解釈に関するガイダンス」に従い、*Escherichia coli* WP2uvrA及び*Salmonella typhimurium* TA系4菌株を用いて復帰突然変異試験を実施した。

検体について、313~5000  $\mu$ g/プレートの用量で試験を行った。その結果、復帰変異コロニー数の増加は認められなかった。

以上のことから、本試験条件下における検体の遺伝子突然変異誘発性は、陰性と結論した。